

まちのニュース

町内の話題をお届けします



▲ドッチビーで交流する子どもたち

未来の頼れるリーダーに

ジュニアリーダー養成講座

地域の子ども会活動などを中心とする「ジュニアリーダー」を育成しようと、「ジュニアリーダー養成講座」が開かれています。

7月10日には、2回目の講座が大網白里アリーナで行われ、未来のジュニアリーダー22人が参加しました。

この日はまず、県子ども会育成連合会の指導で、三角巾を使った応急手当法を学習。いざというときのため、実践を交えながら取り組みました。

その後、近隣市町村の子ども会関係者の指導のもと、軽スポーツ「ドッチビー」で体を動かし、親睦を深めました。

今後参加者は、野外活動や文化芸術活動などの講座を通して、地域のたくましいリーダーとして成長していきます。



▶課題に取り組む子どもたち

夏休みの宿題をサポート

夏休み子ども教室

退職した教員などが、夏休みの宿題のお手伝いをする「夏休み子ども教室」が今年も、大網・増穂・白里の各会場で7月26日から29日、8月23日から26日に行われました。

参加した小学生たちは、持参したドリルやポスターなどの課題に取り組み、分からないところなどを先生方に質問。先生方も熱心な指導で応えました。

参加した小学生からは「分からなかったところが、よく分かるようになった」、「ポスターが早くきれいに仕上がった」との感想が寄せられました。

力を合わせて快挙

瑞穂小学校



▶「みんなでレレ」に取り組む児童



▲ジェフレディースとのPK対決

瑞穂小学校が、県教育委員会のいきいきちばっ子コンテスト「遊・友スポーツランキングちば」の前期大賞に輝き、7月11日に、小学校のグラウンドで、授与式が行われました。

この取り組みは、小・中学校内で、クラスやグループごとに「連続馬跳び」や「連続短縄跳び」など7種目に挑戦し、結果を公式記録として申請。その成績や申請回数を学校ごとに競うものです。瑞穂小学校は、4月から6月に810回の記録を申請し、昨年度の後期・年間大賞に続いて、前期大賞に輝きました。

この日は、県の教育庁から視察に訪れ、全校児童が各種目を披露。表彰状を児童に手渡した、鬼澤佳弘県教育長は「みんなで力を合わせて、いろんな種目に取り組んだ成果。これからも模範となつて、がんばってほしい」とたたえました。

また、昨年行われた、ゆめ半島千葉国体の女子サッカーで優勝した、「ジェフレディース」のメンバーがゲストとして登場し、PK対決や連続馬跳び対決などで交流を深めました。

活きのいいお魚をどうぞ

町観光協会「親子アジのつかみ取り」



観光客や地元の子どもたちに喜んでもらおうと、7月24日、白里中央海水浴場で、町観光協会主催による、アジのつかみ取りが行われました。

このイベントは、毎年行われている観光地曳き網に代わり、潮の影響に左右されないものとして、今年初めて開催されました。

この日用意されたアジは約200匹。砂浜に設置された木の水槽に、次々にアジが入れると、子どもたちは、動きの早いアジを夢中で追い掛けていました。

捕まえたアジは、その場で塩焼きにして食べることができるほか、観光客などに、イワシの塩焼き約1,800匹も振る舞われ、おいしそう匂いに誘われて、大勢の人たちでにぎわいました。

ザリガニ釣りに挑戦

大網東小学校



▲手製の竹の釣りざおでザリガニを釣る児童

7月11日、大網東小学校の2年生50人が、学校近くの水路で、ザリガニ釣りに挑戦しました。

この校外学習は、2年生と1年生の交流の一環として毎年行われているもので、釣ったザリガニは、学校に持ち帰り、絵を描いたり、生態系の観察をしたり、1年生にザリガニ釣りを体験させてあげたりするというもの。

始まる前に、先生から「はさみの前にエサを垂らし、しっかりと挟んでから、さおをあげるとうまくいくよ」とコツを教わりましたが、投げ入れたエサがはさみの前に行かなかったり、隣の友だちと糸が絡まったりと、大苦戦の様子。

ようやくエサをつかんだザリガニを、慎重に釣り上げるのと、「先生、見て、見て。こんなに大きいのが釣れたよ」と大喜びしていました。